

分野： (2) COPDに関する調査研究
② 喫煙及び受動喫煙のCOPD等における健康被害の評価

(2)-②

申請課題名：喫煙及び受動喫煙のCOPD等における健康被害の評価

調査研究代表者氏名：相良博典

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	0人	2人	3人	1人	0人	3.17
(3) 研究計画の妥当性	0人	2人	4人	0人	0人	3.33
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						3.25
(6) 総合評価(第2評価)	0人	3人	3人	0人	0人	3.50
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						3.33

2 記述評価
<p>・データが集ったところで、今後、どのように治療・管理介入をすることがこの研究では重要ではないか。加熱式たばこについては最近もケースレポートが出ていたが、かなり問題があるのではないか。これらの症例は集めて別途、検討すべきではないか。</p> <p>・フレイルや加熱式たばこについての評価をさらに進めるとより興味深い研究成果がえられると考えられる。</p> <p>・COPD患者における喫煙状況は示されたものの、特に新しい知見はない。禁煙により食欲が亢進することでフレイル状態が改善し、COPD患者のQOLが改善するというデータは？加熱式たばこを使用している患者の健康被害状況は？また、喫煙している患者への禁煙教育、特に加熱式たばこ喫煙者への対策は？</p> <p>・食欲の差 15.14は どのような統計から有意な差ですか。</p> <p>・COPD対象の喫煙状況ごとの客観的評価及び禁煙対策による前向き研究など、それぞれについて、十分な成果を期待する。</p> <p>・加熱式たばこに関する基礎的研究の進展を期待する。</p> <p>・当初計画では複数の目的が設定されている。加熱式たばこの健康影響評価をはじめとして重要な課題であると考え、それぞれの到達目標を明確にして研究を進めることが必要と考えられる。</p>